

## 教育奨励賞 (末丸賞)



飯田 淳義

## 略 歴

平成18年3月 岡山大学医学部 卒業  
平成18年4月 岡山赤十字病院 初期研修医  
平成20年4月 心臓病センター榊原病院 後期研修医  
平成23年4月 岡山大学病院 救急科 医員  
平成24年6月 岡山大学病院 救急科 助教  
平成27年4月 岡山大学 医療教育統合開発センター 助教  
平成28年4月 岡山大学大学院医歯薬総合研究科附属 医療教育統合  
開発センター 助教

## 業 績 要 旨

受賞者は岡山大学医療教育統合開発センターに奉職し、救急医として臨床で活躍する傍ら学生教育、研修医教育に従事している。

医学部1年生には早期体験実習として心肺蘇生法を指導しているほか、行動科学社会コミュニケーション実習の担当教員として入学間もない学生へ社会的位置づけの指導を行っている。医学部3年生には模擬医療面接実習の担当教員として問診方法を指導、医学部4年生にはシミュレーション実習の一環として注射手技（静脈採血、動脈採血、筋注、皮下注）、尿道カテーテル挿入を指導している。特に皮下注射手技については岡山大学の先進的取り組みであるStudent Doctor (SD) によるワクチン接種につながるものであり、時間をかけて注力している。SDワクチン接種はこれまで数千人へ接種し、重大な有害事象を認めていない。医学部5年生へは、全員に外傷初療と二次救命処置の両者についてシミュレータを用いて訓練させており、これは全国的にも先進性がある。

研修医の教育については研修医OSCE指導医、医科研修医ICLSインストラクター、歯科研修医ICLSインストラクターをそれぞれ務め、また岡山医師研修支援機構副事務局長として岡山マッチングプログラムの開催に従事している。2016年は救急科と総合内科合同の「研修医のための総合診療ミニレクチャー」をコースマネージャーとして立ち上げ、GIMインテンシブコースとして救急医、総合診療医の育成に尽力している。また岡山県内各病院のシミュレーション教育連携をはかるべく岡山シミュレーション医療教育連絡協議会の岡山大学病院代表として活動している。

病院医療スタッフを対象とする活動については、指導医講習会のタスクフォースとして開催に従事、また医療教育統合開発センター主催の医学教育FDに講師として参加し、新見市の渡辺病院、津

山市の日本原病院にも遠隔配信しながら指導を行った。さらに薬剤部を対象としたシナリオシミュレーションに講師として参加し、薬剤師によるショックの認知と対処について指導を行った。

学外を対象とした活動では医療教育統合開発センター所属教員として、岡山県内の中学生を対象とする職場体験の一環としてシミュレータを用いて一次救命処置や内視鏡手技を指導し好評であった。また高大連携の一環として朝日高校、一宮高校、高松高校などに同様にシミュレータを用いて一次救命処置や内視鏡手技を指導し、さらに津山高校には講師として派遣され岡山大学医学部の魅力を十分に広報した。また慈圭病院の病棟看護師を対象に、年に数回シミュレータを用いた身体診察の講習も行っている。さらに文部科学省の視察に際しては同様にシミュレーションセンターを紹介して体験もしていただき、好評であった。

国際的な活動としては医療教育統合開発センターの教員としてマヒドン大学（タイ）、ヤンゴン医科大学（ミャンマー）、Zirve大学（トルコ）の各大学から医学生短期受け入れに際し、本学のシミュレーション教育を紹介し指導している。またラジブガンジーセンター（インド）からの視察団にも対応し、本学のシミュレーションセンターを紹介した。また2016年にはミャンマーへ渡航して現地の医療教育の現況について視察し、シミュレーション教育の協力について議論を行った。

また特筆すべき業績として、医学教育分野別評価基準に基づく岡山大学医学部自己点検評価書の作成に関与し、また2016年6月には認証評価実地調査の対応に携わった。講評は概ね高い評価を得ており、本学の医学教育の卓越性が示された。また同講評で指摘のあったIR部門の不在については医療教育統合開発センターが中心となって対応を進めており、同センター代表として慈恵会医科大学、東京医科大学、自治医科大学等を視察し課題を整理している。今後もIR部門設立について中心的に従事していく予定である。